

SUSTAINABLE GOALS
SDGs
Sustainable Development Goals

金融サービスを、
これからもずっと。
誰ひとり取り残さない
金融サービスを、
これからもずっと。

“ろうきん運動”と“SDGs” SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

組合員のためのろうきん運動の推進が“実は”SDGsの達成につながっています！

ろうきんは、組合員やはたらく人の「可処分所得向上」や「お金に関する知識の向上」をめざし、労働組合と一緒にセミナーや学習会の開催などに取り組んでいます。また、ろうきんでお預かりしたお金は、組合員のニーズに応じた融資やESG投資などに活かされています。労働組合をはじめとする会員のみなさんの組合員とその家族の暮らしを守るために行う“ろうきん運動”的推進が“実は”SDGsの達成につながっているのです。

ろうきんの取り組み
(ろうきん運動の推進)

- 組合員(労働者)の生活向上
- 金融アクセスの改善
- 社会的課題の解決

SDGsの達成！

詳しく知りたい方はこちらから
https://all.rokin.or.jp/about/rokin_sdgs/

R 生活応援バンク ろうきん

カーライフを応援する、頼れる補償

マイカー共済
自動車総合補償共済

どんな補償が必要なのかしら?
車のトラブルは?

**ご相談ください!
見積もり実施中!**

マイカー共済で、より快適なカーライフをお過ごしください。

補償内容 おすすめ安心タイプ

基本補償 ご自身や同乗者の補償 人身傷害補償 最高5,000万円 大きな事故の場合でも、相手への賠償が無制限なら安心! 対人賠償 対物賠償 無制限	車両損害補償 愛車のさまざまな損害を補償 一般補償 代車費用等を補償 付随諸費用等補償特約	特約 無過失事故のトラブルを弁護士に相談できます
--	---	------------------------------------

事故対応
●休日・夜間を問わず、24時間365日事故受付
●示談交渉サービス付き(対人・対物賠償事故に限ります)

サポート体制

- マイカー共済ロードサービス
自走不能の場合のレッカーカー車または積荷による搬送
30分以内の路上クイックサービス
- 燃料切れ時のガソリンまたは軽油お届けサービス
脱着・落輪等引き上げサービス
- 車検・修理・点検は全国ネットのこくみん共済 coop 指定整備工場で!!

●ここに記載されている内容は、共済商品の概要を説明したもので、ご契約の際は「リーフレット」「ご契約のてびき(契約概要・注意喚起情報)」を必ずご覧ください。

自賠責共済とあわせてのご加入をおすすめします。

「もしも」に備え「もしも」を防ぎ
「もしも」に向き合う。
公式キャラクター ピットくん

たすけあいの輪をむすぶ
こくみん共済〈全労済〉

「こくみん共済 coop」は営利を目的しない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

機関紙

RENGOFUKUI

れんごう福井

No.333 2025. 4. 7発行
発行 日本労働組合総連合会
福井県連合会
発行人 橋岡克典
〒918-8231 福井市問屋町1丁目35
TEL(0776)27-5556
FAX(0776)27-2472
定価 年間480円(会員の購読料は会費の中に含む)

<https://rengo-fukui.main.jp>

フェイスブックURL
<https://ja-jp.facebook.com/rengo.fukui>

連合アクション・2025春闘 総決起集会を開催!

2025年2月27日(木)、福井市・アオッサ「県民ホール」をメイン会場に、丹南会場、嶺南会場をサテライト会場として「連合アクション・2025春季生活闘争 総決起集会」を開催し、各構成組織から3会場で約600名が集結しました。

昨年に続き、社会的な賃上げムードの醸成に向け、全国統一行動日に合わせて開催した当集会では、杉本知事をはじめ推薦議員団から激励を受け、「みんなでつくろう!賃上げがあたりまえの社会」を合言葉に、連合福井一丸となって2025闘争にのぞむ決意を新たに士気を高めました。

始めに、主催者代表挨拶に立った矢野会長は、「社会問題・地域課題など、労働者や生活者を取り巻く環境が大きく変化しつつある昨今、私たち労働組合の活動が改めて必要かつ重要になっていると感じている。サプライチェーンによる共存共栄の精神に基づき、大手によるけん引と中小・零細企業への波及、また公務員の人事院勧告も含めた全体の底上げに加え、格差是正にも力点を置き、今春闘を闘っていくことが我々の使命だ。」と力を込めました。

次に、橋岡事務局長からの春闘に関する取り組みの報告では、『みんなが生活向上を実感』できる社会に向けて労働組合がけん引役になろうと呼び掛け、中小労組は格差是正分を積極的に要求していくことも強調して話しました。その後、各会場から春闘にかける思いをリレー中継し、民間・公務それぞれの立場から2025春闘への意気込みを発表していただきました。

最後に、竹内執行委員から総決起集会アピール(案)が上程され全体の拍手で採択された後、矢野会長の発声による各会場からの力強いガンバロー三唱で集会を締めくくりました。

私たち労働組合がけん引役となって、地域の相場感をつくり、県内労働者に広く春闘の成果を波及させていきましょう。

激励挨拶

杉本達治 福井県知事

辻英之 衆議院議員

波多野翼 衆議院議員

板谷副会長から春闘川柳コンテスト最優秀賞の表彰

竹内執行委員から総決起集会アピール(案)を上程

春闘にかける思い

福井県教職員組合
高川書記長

私鉄総連 福井鉄道労働組合
橋本書記長

JEC連合 敦賀セメント運輸労組
松下執行委員長

丹南会場での
ガンバロー三唱

嶺南会場での
ガンバロー三唱

福井県経営者協会との労使懇談会(春闘要請)を開催

各地協で春闘学習会を開催しました!

労使交渉が本格化する前に、春闘方針の確認や賃金引き上げのポイント、交渉時に役立つ情報の共有を図るため、各地協で春闘学習会を実施しました。テーマについては、今年のトレンドや要望を基にそれぞれの地協で設定し、多くの参加をいただきました。

引き続き、組合員のため、働く者のために力を合わせて頑張りましょう！

福井地協

「組合員の可処分所得向上と人財確保戦略」
日時：2月13日（木）
会場：ユニオンプラザ福井+WEB併用
講師：森口 美和子 氏
(社会保険労務士)



丹南地協

「あらゆるハラスメント対策と差別禁止の取り組み」
日時：2月19日（水）
会場：アイアイ鯖江
講師：勝見 秀樹 氏
(特定社会保険労務士)



嶺南地協

「後ろ向きな退職を防止するため取り組むべきコト」
日時：2月6日（木）
会場：リブラ若狭+WEB併用
講師：小玉 隆一 氏
(特定社会保険労務士・行政書士)



2025春闘 経済団体・行政への要請行動

連合福井では、2月12日（水）から県内経済団体・行政への春闘に関する要請行動をスタートさせました。2025春闘では、中小企業・小規模事業者が継続的な賃上げ原資を確保できる環境整備のため、公労使で力を合わせて取り組んでいく必要があります。「みんなが生活が良くなったと実感できる賃上げ」の実現に向けて、中小企業・小規模事業者にも賃上げをどこまで広げができるかが重要となり、経済社会の新たなステージを定着させるための重要な局面です。

経済団体に対しては、「月例賃金の改善および格差是正」、「賃上げ原資配分」、「持続的な賃上げ原資を確保するための取り組み」などについて要請し、行政に対しては、「社会的な機運醸成」、「適切な価格転嫁・適正取引の円滑化」、「可処分所得の向上」などに関する政策的な支援を求めました。

連合福井では、今後も継続して経済・行政の両面から働く人のための環境づくりを進めていきます。

要請先

経済団体

行政



2/12(水)福井県商工会議所連合会



2/12(水)福井県中小企業団体中央会



2/17(月)福井県市長会

2/17(月)福井県町村会



2/19(水)福井県商工会連合会



2/25(火)福井県中小企業家同友会



2/20(木)福井労働局



2/28(金)福井県

労使交渉が本格化する中、2月28日（金）にグランユアーズフクイにて、福井県経営者協会と連合福井の三役が会して「労使懇談会」を開催しました。

冒頭に、連合福井の矢野会長から福井県経営者協会の光野会長へ要請書を提出した後、両会長から今春闘を取り巻く環境やそれぞれの考え方・スタンスについて述べられました。

続いて、橋岡事務局長からは2025春闘に関する要請内容の説明を行い、光野会長から総括的なコメントを受けました。

その後、基調講演として特定社会保険労務士の勝見氏から「年収の壁」をテーマに、それぞれの制度がどのようなものなのかについて解説を受けるとともに、今どのような議論が行われているかについて講話いただきました。

限られた時間ではありましたが、成長と経済の好循環のためには「継続した賃上げが必要」という点や課題認識も共有でき、労使で共に創り上げる「共創」という言葉をキーワードに、引き続き連携した取り組みを確認する場になりました。



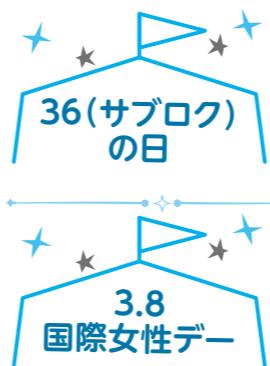
連合福井 矢野会長（左）から
経営者協会 光野会長（右）へ
要請書提出



橋岡事務局長から
要請内容の趣旨説明

特定社会保険労務士
勝見 秀樹

「36(サブロク)の日」と「3.8国際女性デー」の取り組み紹介

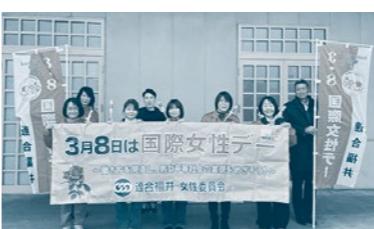


36(サブロク)
の日

36協定とは『時間外・休日労働に関する協定』のことであり、会社が社員に残業をさせるためには「36協定の締結」が必要です。連合福井では、周知活動の一環として玉川副事務局長が3月6日（木）放送のラジオ番組に出演し、36協定やワークルールについて分かりやすく説明しました。



連合福井では、「3.8国際女性デー」の周知活動として各地協で3月8日に街頭行動を実施しました。男女間格差を示す「ジェンダーギャップ指数」で、国際的にみて日本は先進国の中でも特に遅れをとっているのが現状です。この機会に女性の権利やジェンダー平等について考えていただければと思います。



福井地協 福井市「エルパ」



丹南地協 鮎江市「アルプラザ鮎江」



嶺南地協 敦賀市「パロー敦賀店」

『腎疾患総合対策』へのご協力ありがとうございました

『国民を腎疾患から守る総合対策』の早期確立を要望する請願署名

署名数: 25,165筆 カンパ金: 8,100円

2024年2月18日（火）、連合福井の矢野会長から福井県腎友会の山田会長へ、各構成組織・加盟組合から寄せられた『国民を腎疾患から守る総合対策』の早期確立を要望する請願署名とカンパ金をお渡しました。今年もご協力ありがとうございました。

腎臓病の早期発見と重症化の予防、また透析患者が安心して働き暮らせる社会に向けた取り組みがさらに進むよう、請願が採択され国の政策に反映されることを願い、引き続き連合福井では福井県腎友会への支援を行っていきます。



山田会長（左）へ
署名とカンパ金をお渡し